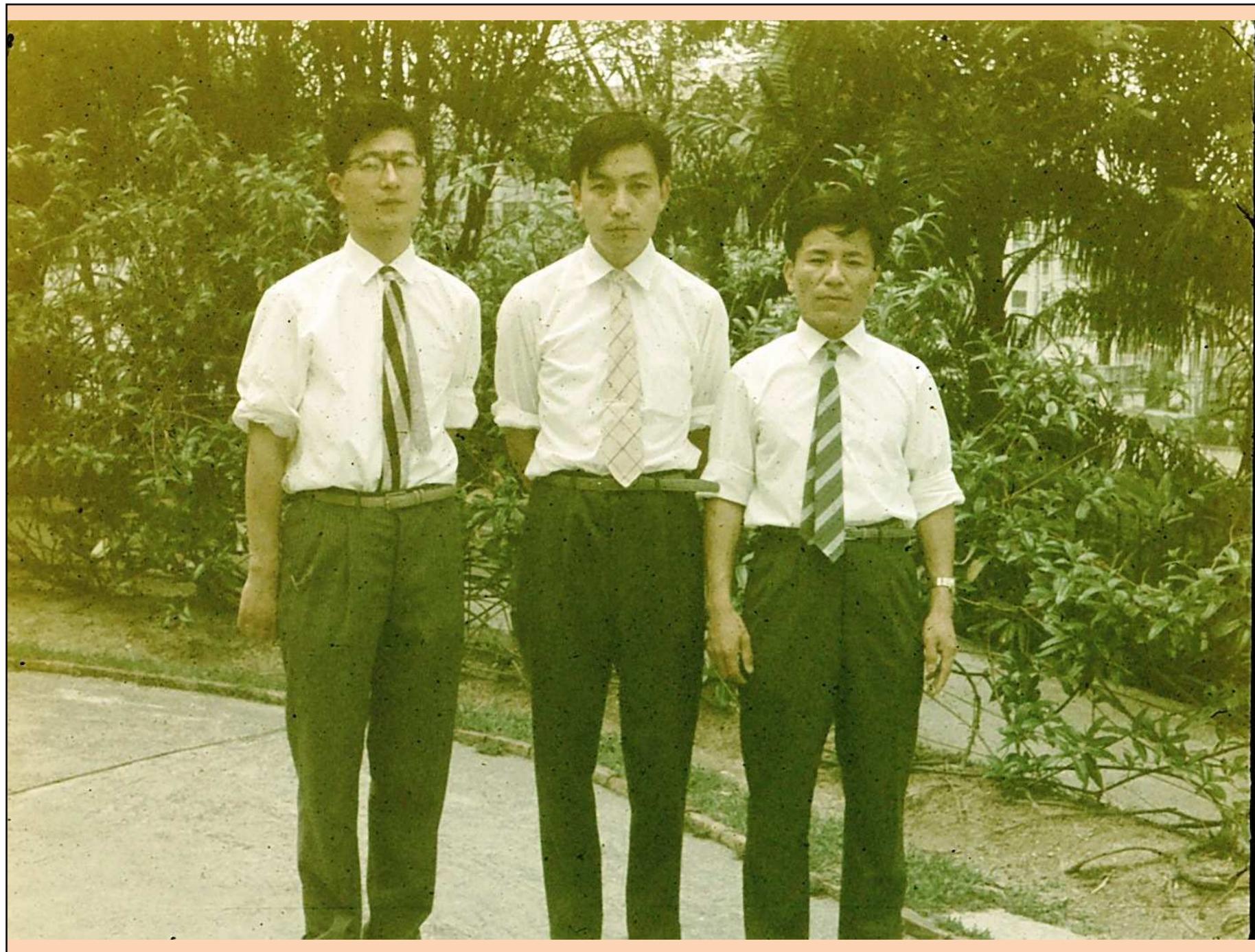


ノシヤツク峰初登頂

KUPE 1960

酒井敏明

岩坪五郎

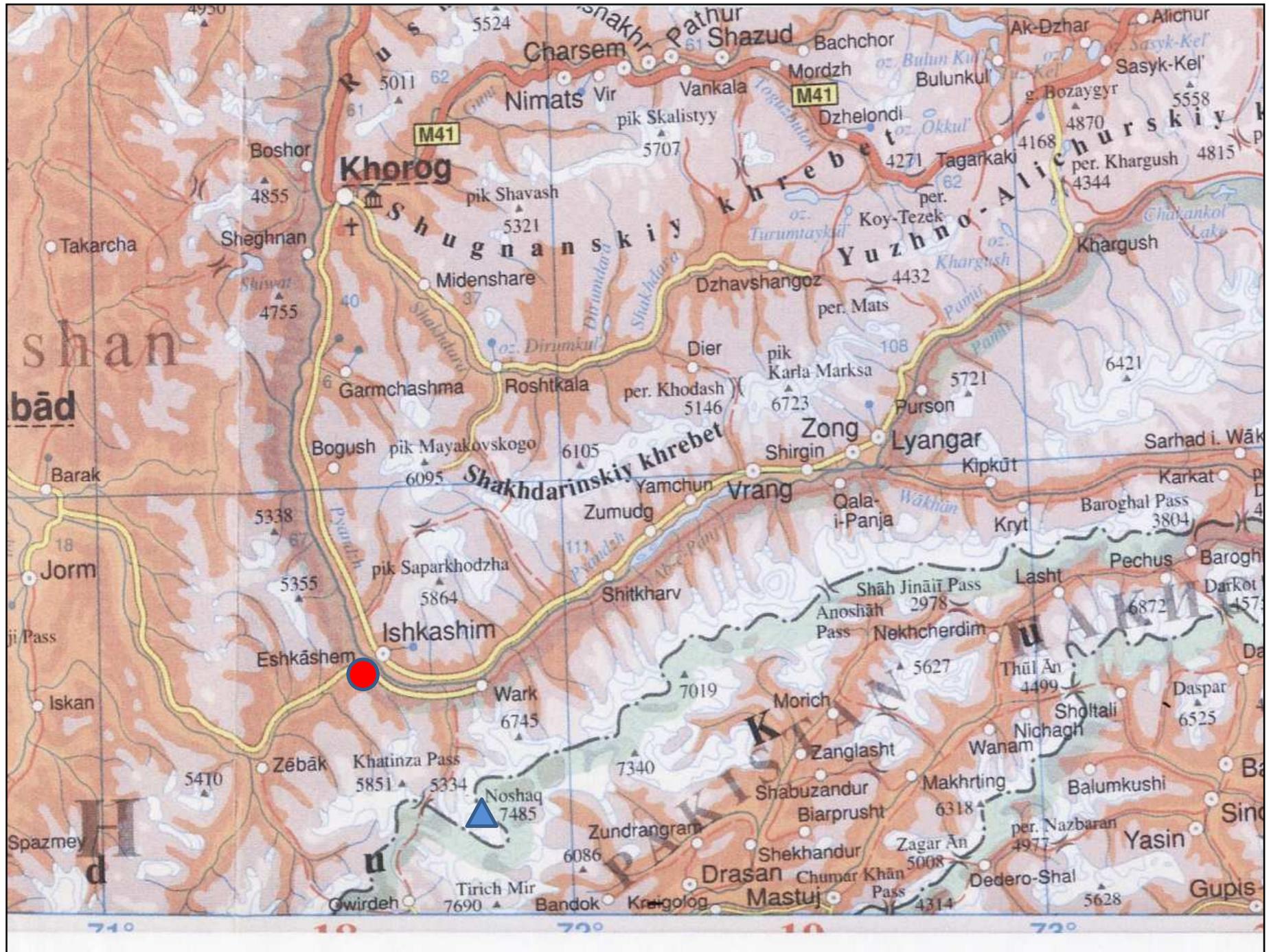


海路出発した3人の若手隊員 左から岩坪五郎 廣瀬幸治 酒井敏明



カラチからカイバル峠を越え首都カーブルへ、さらにヒンドークシュ山脈を越えワハーン通廊にむかう





イシュカシムはワハーンの玄関口、パンジ河の対岸はソ連圏タジキスタン国



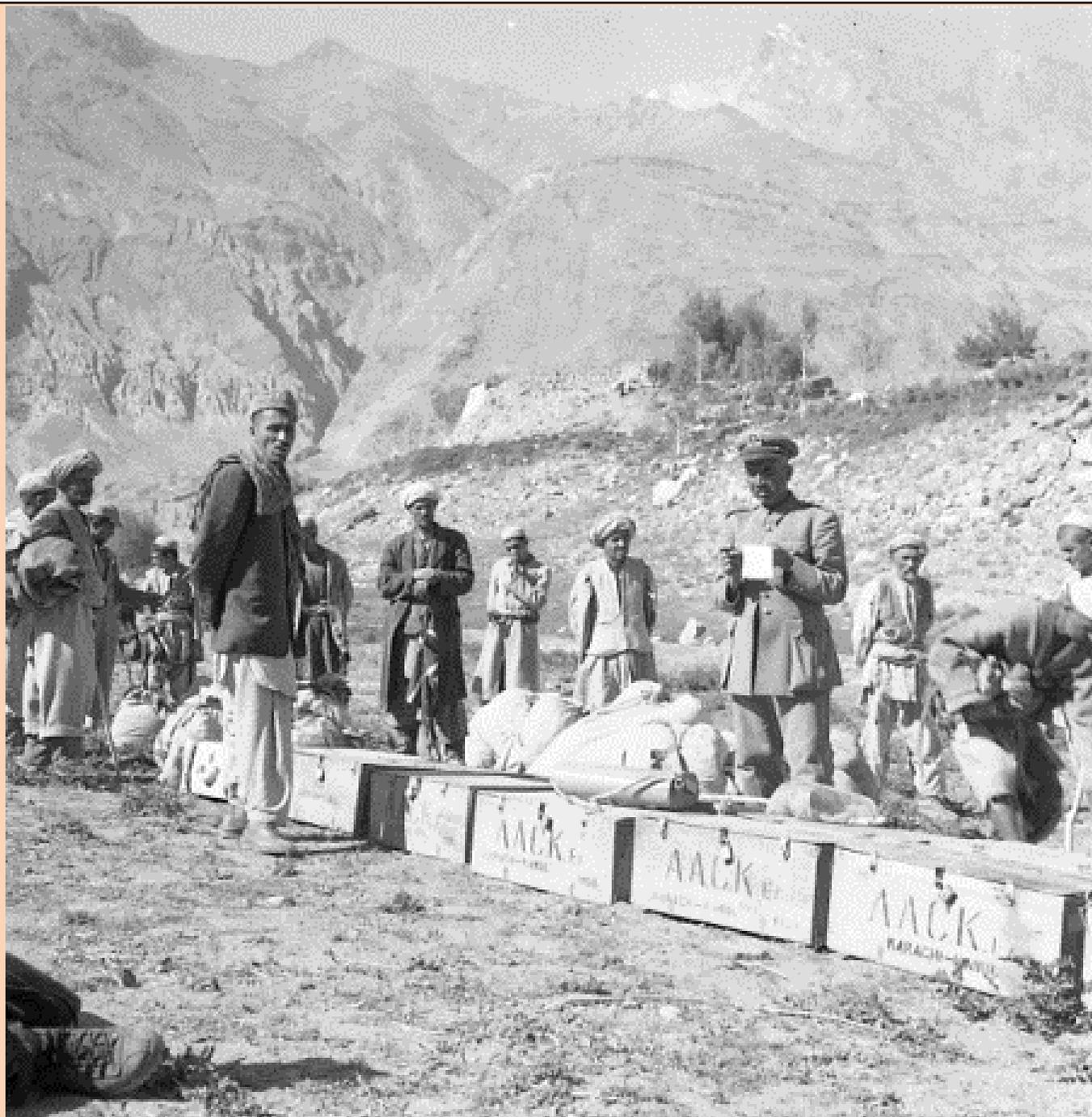
6月21日旅行許可証がやっとおりた リエゾンはディーン・マーマッド・ムズタールさん、文部官僚である OM0216



アマダリア支流コクチャ河にかかる木橋をわたる OM0602



トヨタ車と騎馬でキャラヴァンを進めた

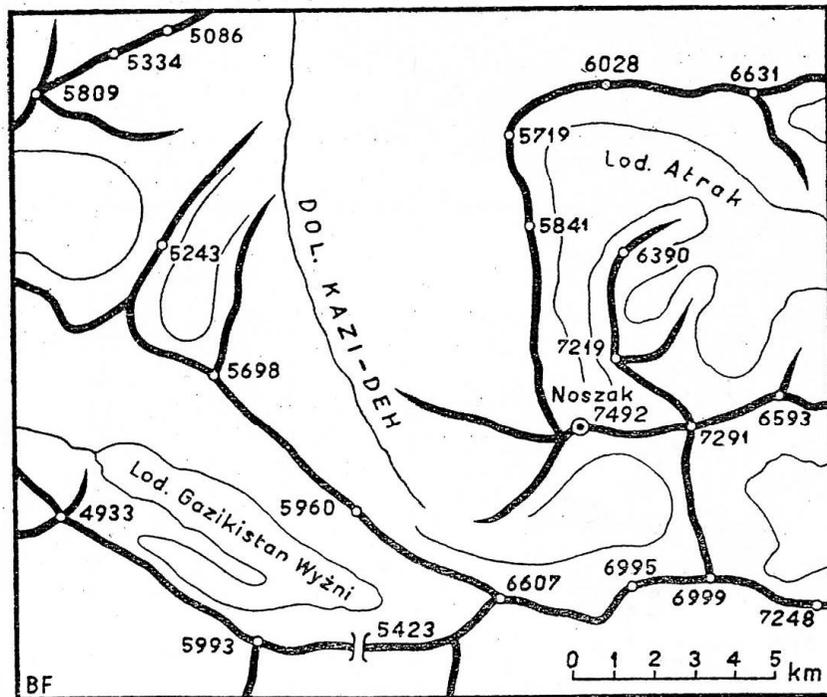


リエゾンがないので護衛の隊長さんが荷運びの手配をしてくれた



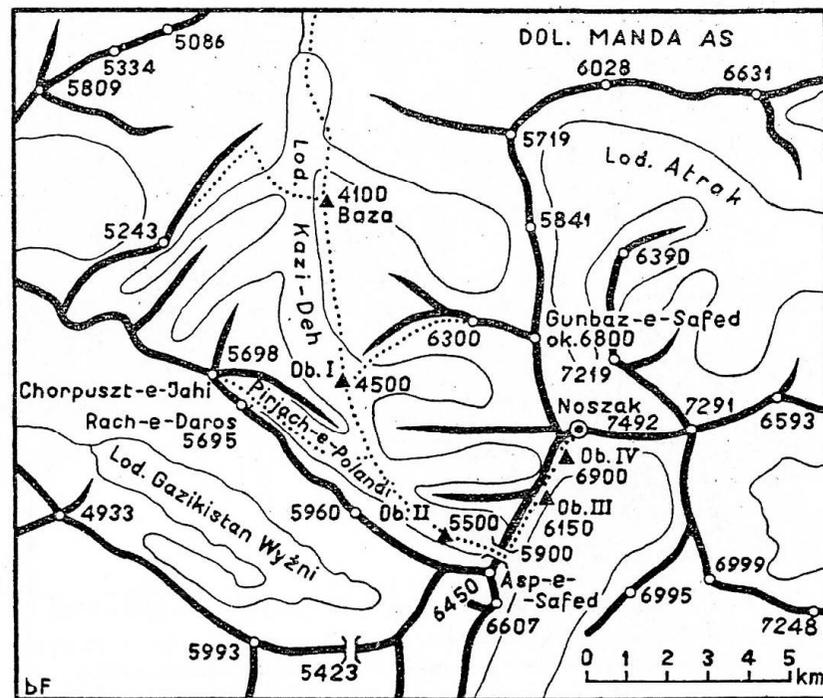
ピャンジ河溪谷の上流をみる かつて玄奘三蔵も歩いた道だ

Mapki Bolesława Chwaścińskiego z Taternika 2-4/1962.



Dolina Kazi Deh i Noszak

Mylny przebieg grani według mapy 37 P/SE i P/NE, 1:126 720
Survey of India z r. 1931 — opracował Bolesław Chwaściński



Dolina Kazi Deh i Noszak

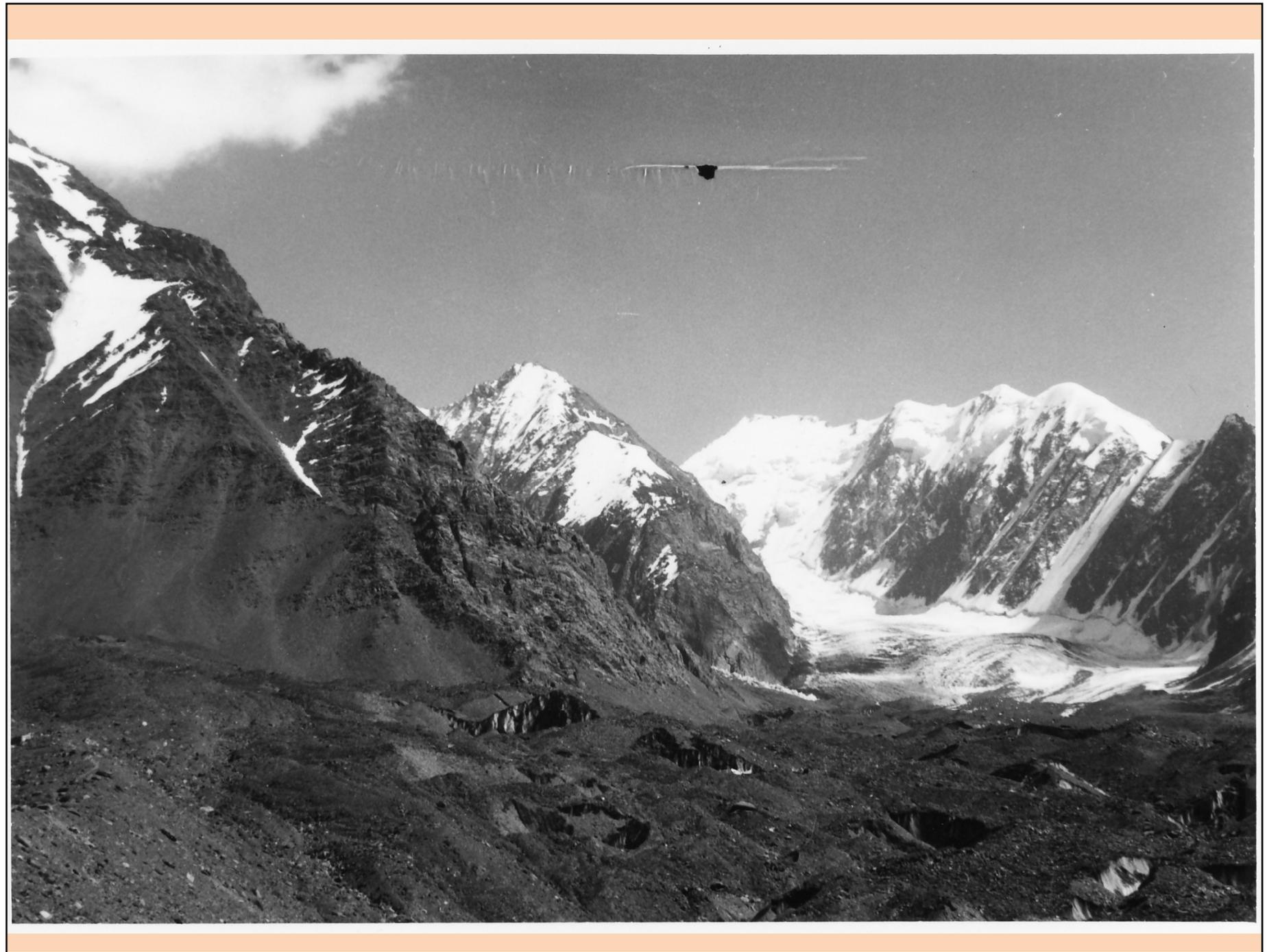
Rzeczywisty przebieg grani na podstawie szkicu Stanisława
Biela z r. 1960 i mapy 37 P/SE i P/NE, 1:126 720 Survey of
India z r. 1931 — opracował Bolesław Chwaściński

5

左のインド測量局地図(1931)と実際のノシャック峰近辺の地形は大きく異なる



カジデー谷の奥に黒い岩屑におおわれた氷河末端があらわれた



カジデー氷河源流部 右側稜線にパキスタン国境が設定されている



西峰のふもとと高度4500mのモレイン(堆石)上にCⅡを作った



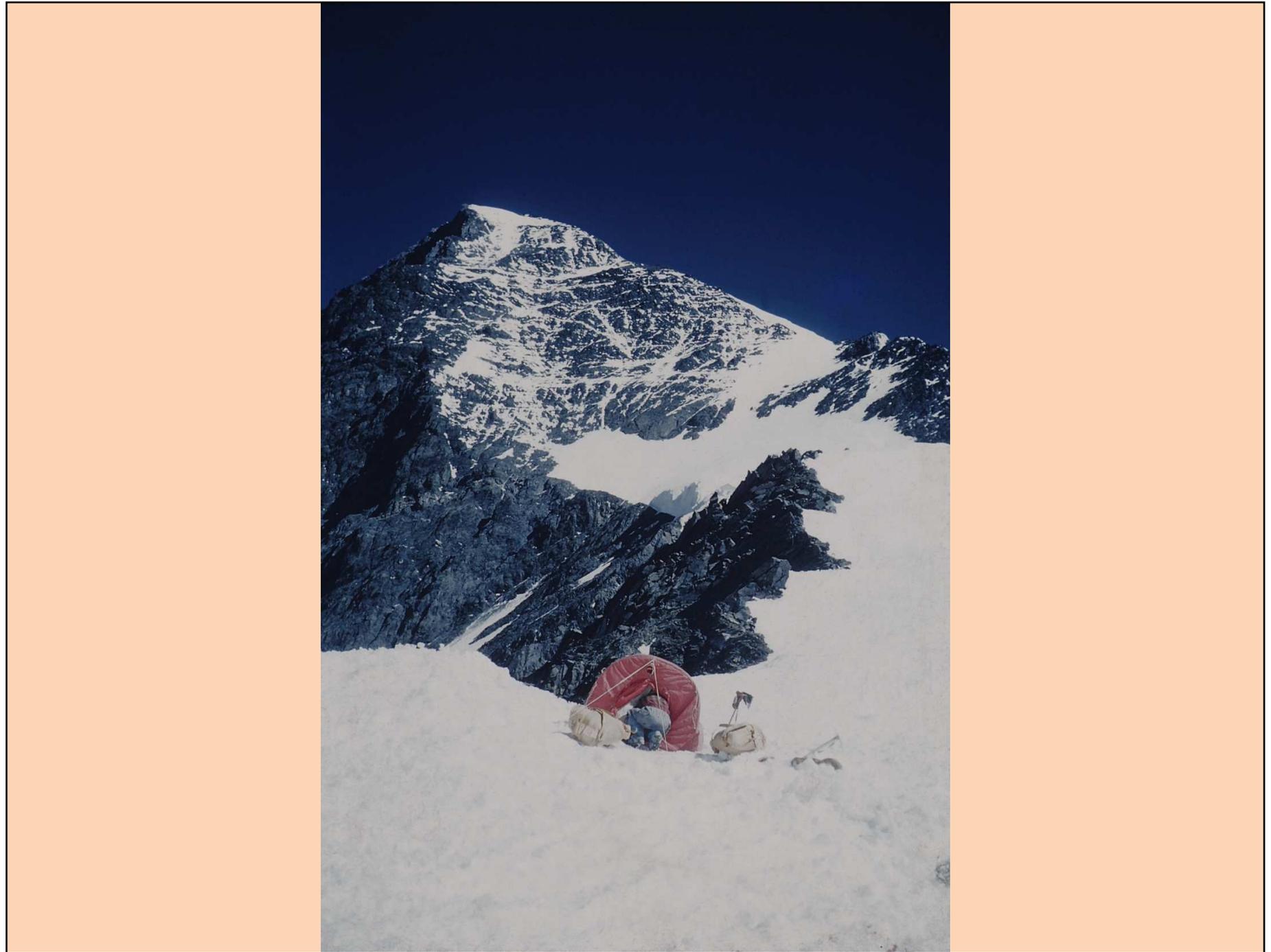
上流側から池越しにC II をみる



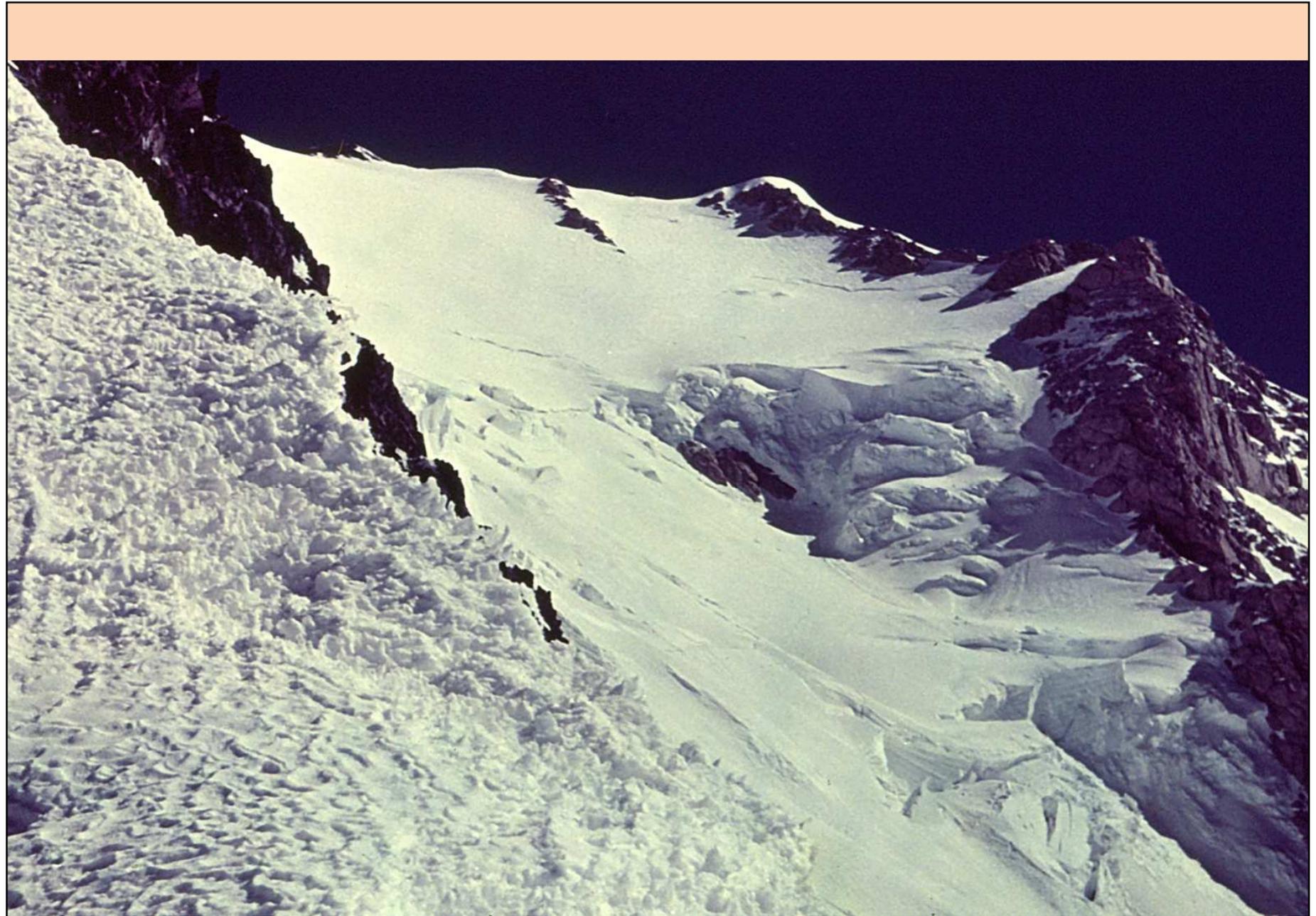
わがCⅢの横にポーランド隊はかれらのCⅡをつくった OM1112



CⅢからさらに氷河最奥部を登り国境稜線上の鞍部を目指す



国境稜線上6300mに最終のCIVを作った。眼前にノシャク西峰がそびえる



登路につかった南尾根の右側はパキスタン領のノシャック氷河におちる斜面だ



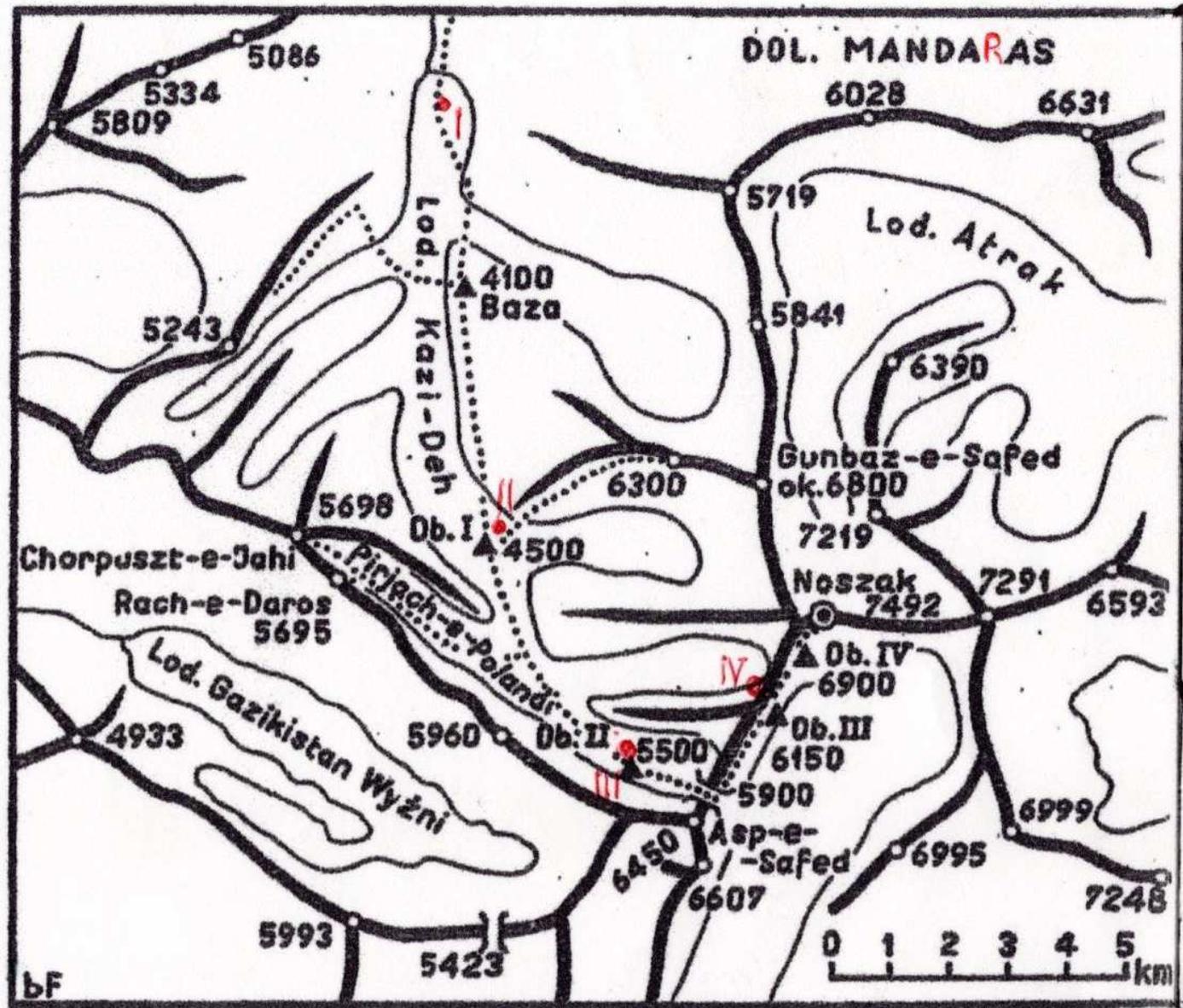
頂上に立ちAACKの旗をかかげる岩坪隊員 8月17日午後6時 OM1208



頂上の岩層の中に記念に小さなこけし人形を埋める



下山途中パキスタン領のティリチミール7700m右とイストルオナル7403m左が見えた



Dolina Kazi Deh i Noszak
 Rzeczywisty przebieg graní na podstawie szkicu Stanisława

ポーランド登山隊のトレースをしめす地図に京大隊の3つの高所キャンプを赤丸で付け加えた



CⅢ付近からカジデー氷河下方をみる 中景稜線のむこうはパキスタン領

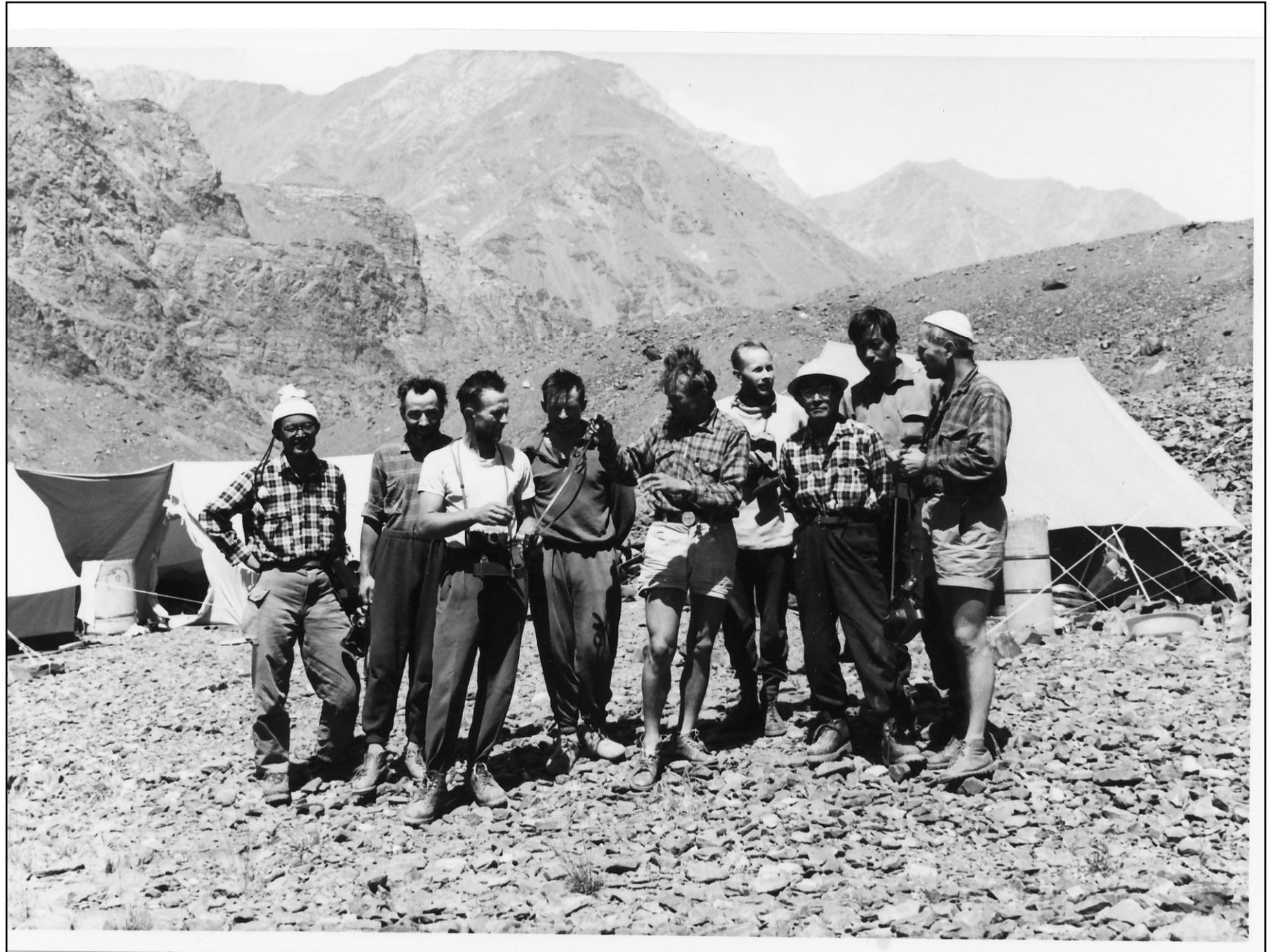


わがCⅢの酒井(右)と岩坪 ポーランド登山隊員が撮影

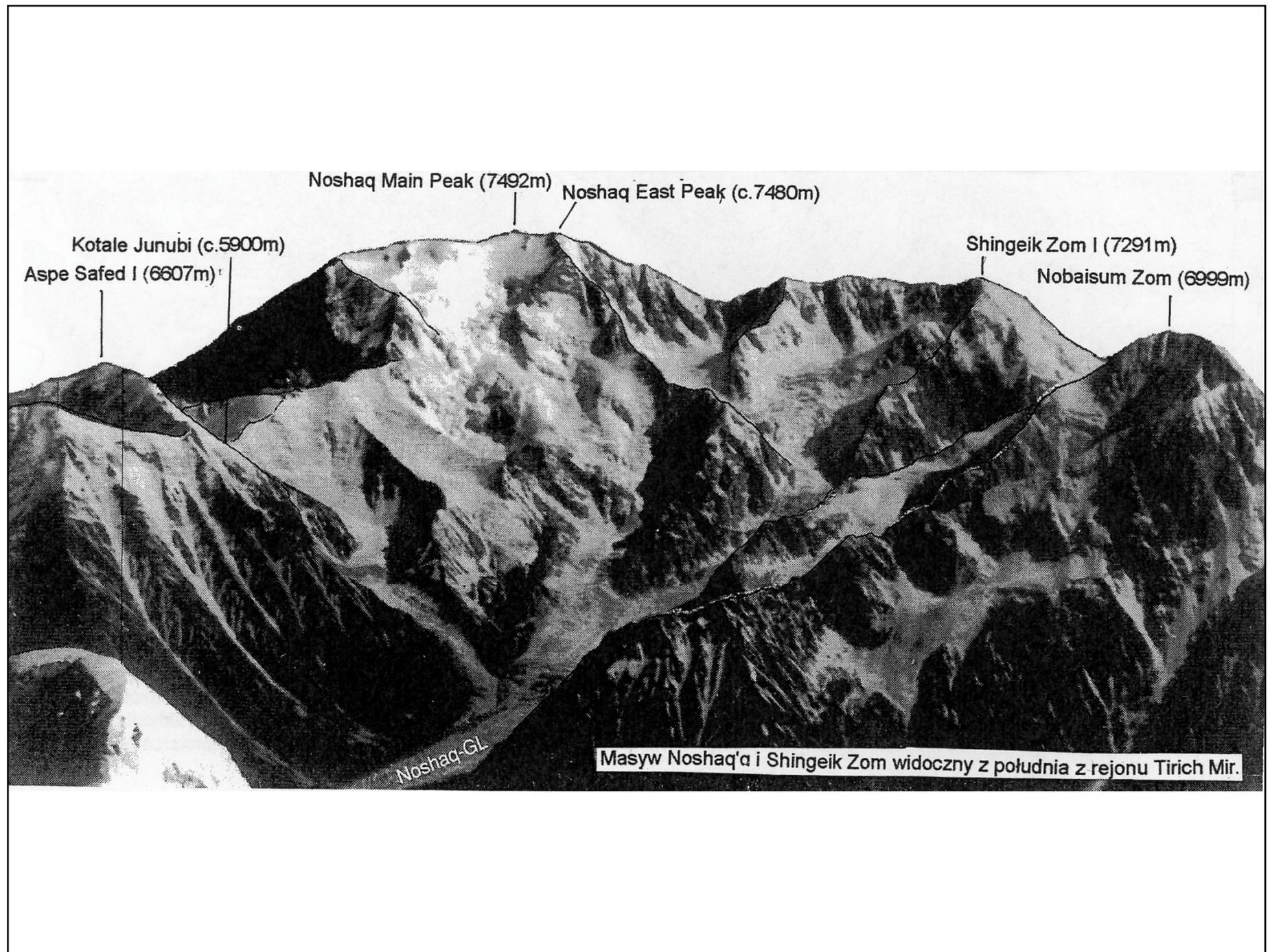
Ⅲキャンプの酒井と岩坪 (ポーランド登山隊隊員撮影)



C IIで憩う酒戸隊長 澤田 岩坪(後ろ姿)



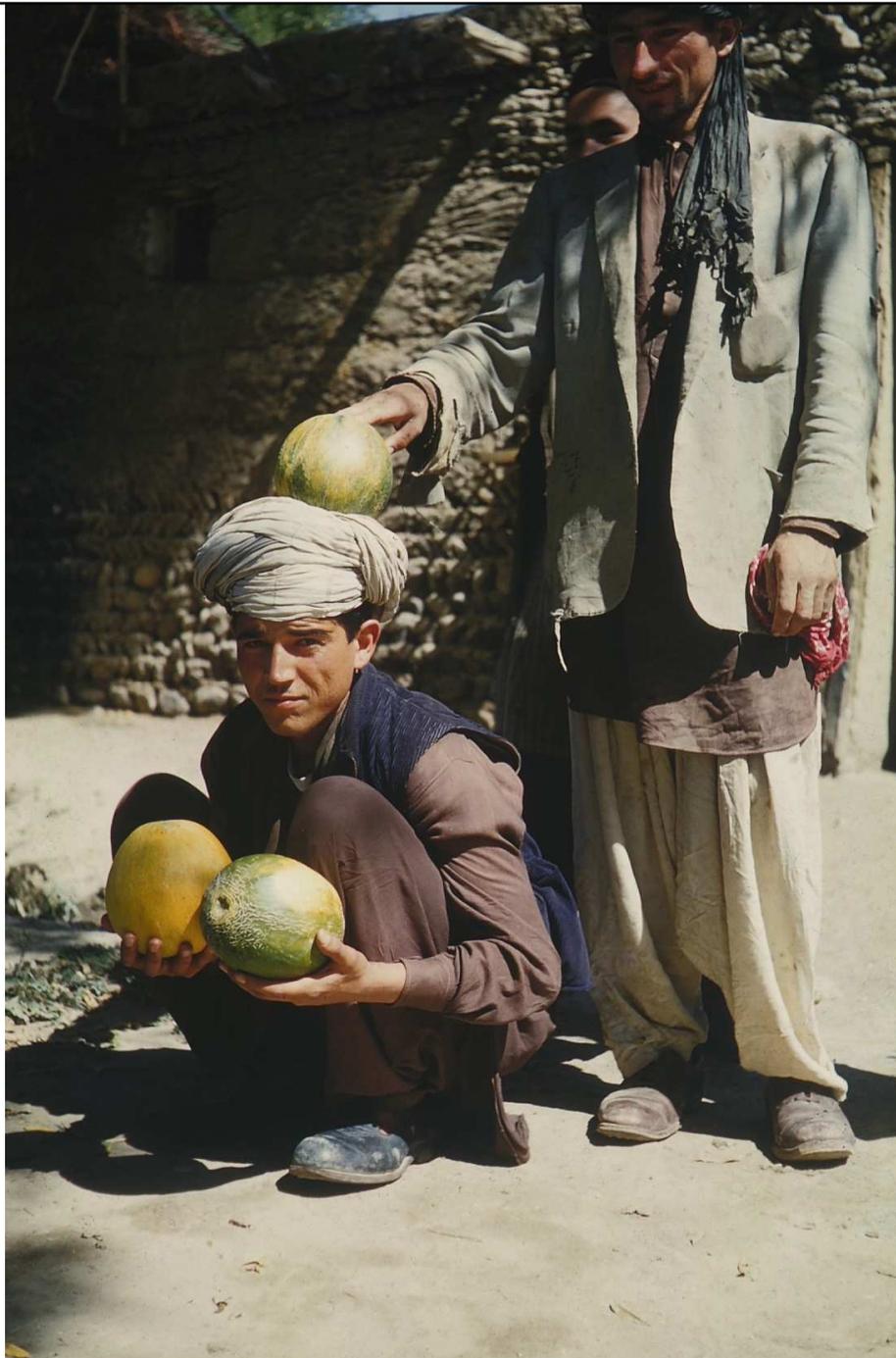
BCを撤収し下山の途中ポーランド登山隊のBCを訪問、つかの間の交流の時間があった



ティリチミール側から望むノシャック山塊



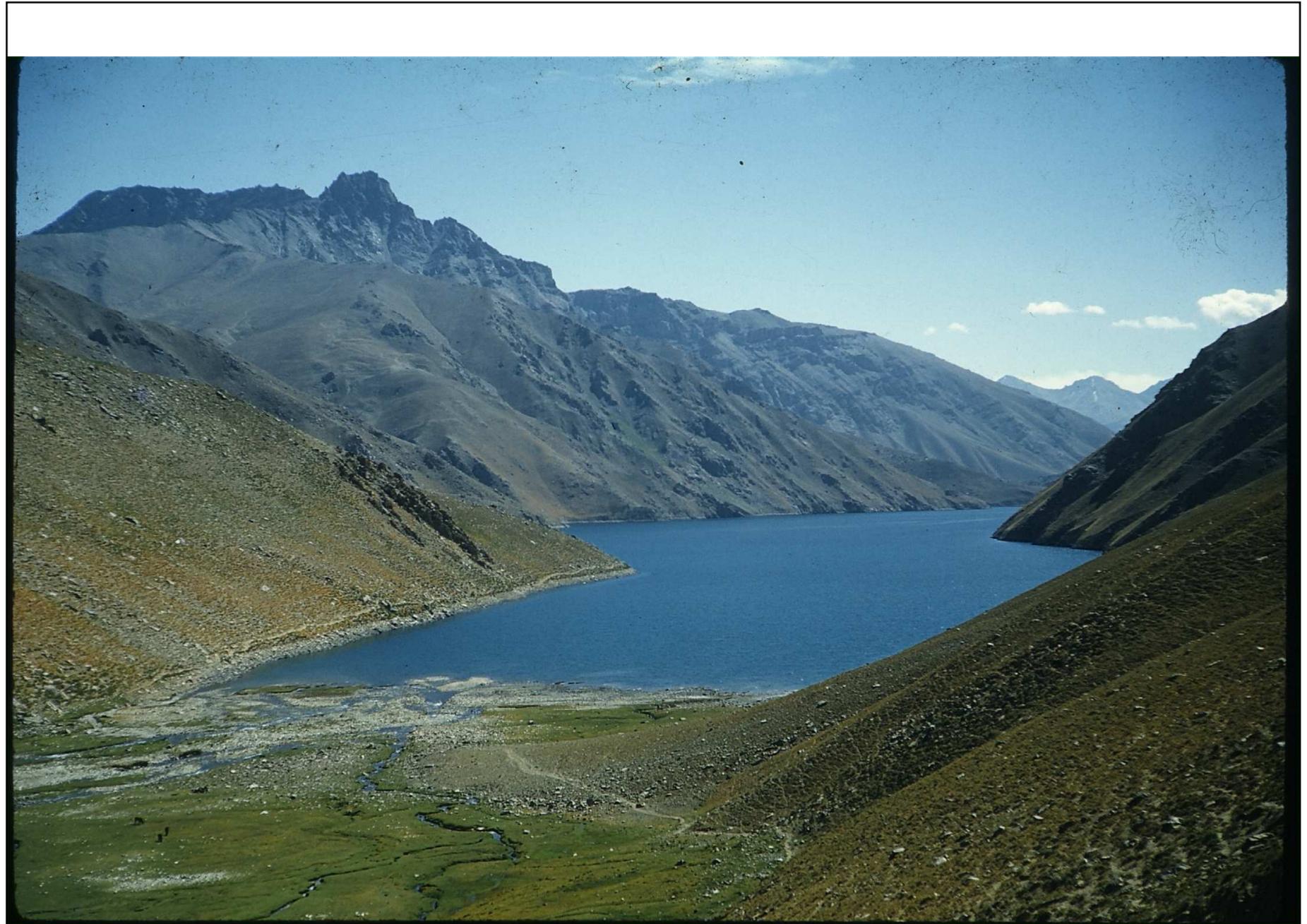
パンジ河の河原までおりて下流方向の谷間をみる 水面上にタジク国との国境線が引かれている



スイカやメロンはおいしい



冬が早いシワ高原の牧地からおりてくる牧畜民と家畜たち



高原の碩止め湖 シワ湖の湖水面は3110m



夏用石室と家畜囲い シワ湖岸にて



私たちは1日の騎馬の旅を終えて泊まり場に着了



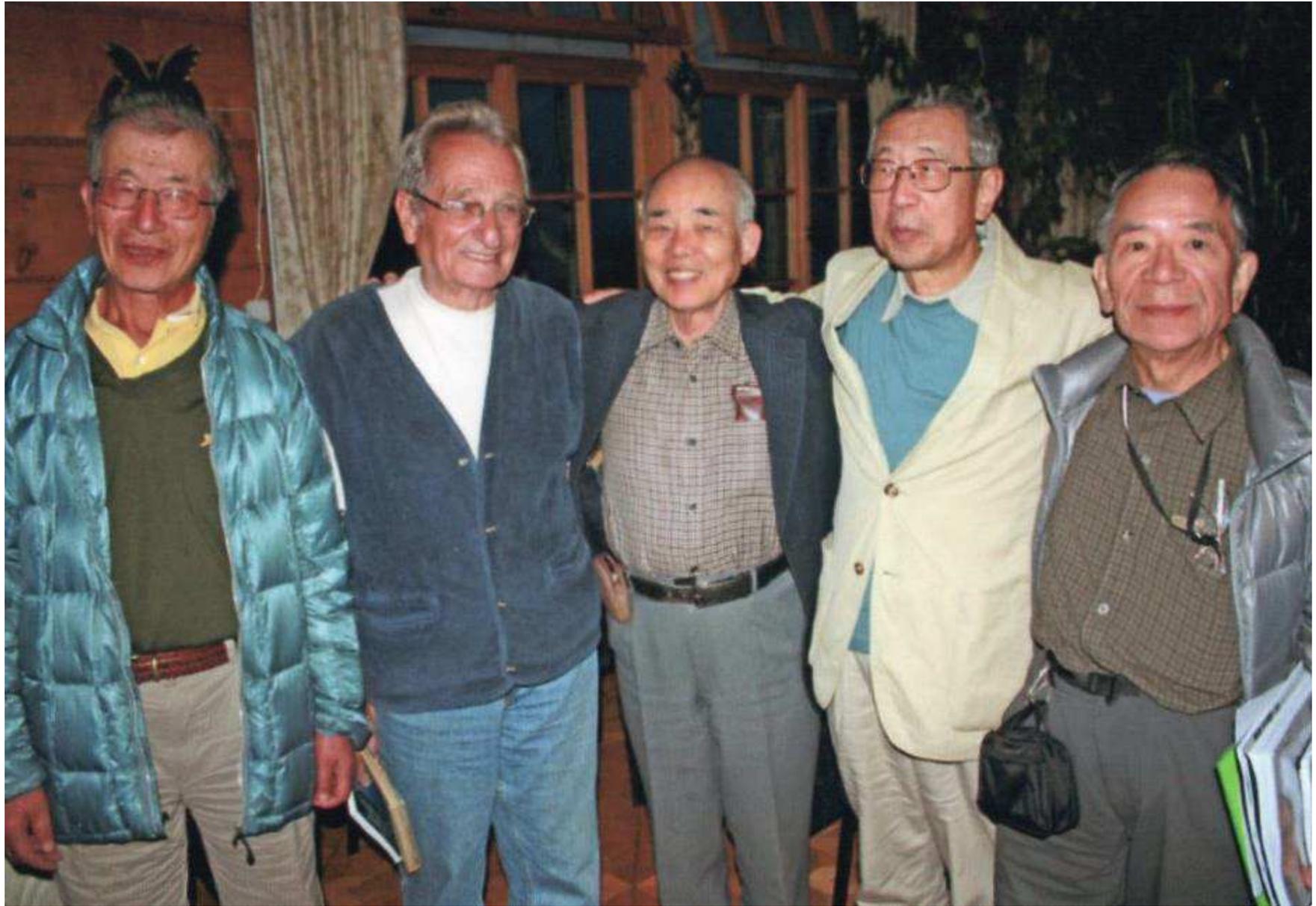
シワ湖往復の旅の途上にて 左から 岩坪 吉井 澤田 酒戸 酒井 廣瀬 OM2601



ヒンドウクシュを横断する南北幹線国道からここで西方バーミアーンに分岐する OM3008



バーミヤーン仏教遺跡群 西の大仏 高さ38m



初登頂50年を記念してポーランドを訪問 ビエール登攀隊長に会うことができた



50年前の異国での対面を報告する



明子ペンションにおいて記念撮影



- メインページ
- コミュニティ・ポータル
- 最近の出来事
- 新しいページ
- 最近の更新
- おまかせ表示
- 練習用ページ
- アップロード (ウィキメディア・コモンズ)

- ヘルプ
- ヘルプ
- 井戸端
- お知らせ
- バグの報告
- 寄付
- ウィキペディアに関するお問い合わせ

- ツール
- リンク元
- 関連ページの更新状況
- ファイルをアップロード
- 特別ページ
- この版への固定リンク

ページ ノート

閲覧 編集 履歴表示 Wikipedia内を検索

ノシャック

出典: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』

座標: 北緯36度25分54秒 東経71度49分42秒

ノシャック (Noshaq, またはNowshak) は、アフガニスタンのバダフシャーン州にある山である。標高は7,492m。アフガニスタンの最高峰である。ヒンドークシュ山脈の山で、ティリチミール (7,690m) について2番目に高い。アフガニスタンの北東部、パキスタンとの国境上に位置する。

初登頂は1960年に日本の酒井敏明と岩坪五郎によって成し遂げられた。この時は南東側の斜面からの登頂であった。冬季における初登頂は1973年にポーランドのTadeusz PiotrowskiとAndrzej Zawadaによって北面から成し遂げられ、世界初の冬季における7,000m級峰の登頂であった。

関連項目 [編集]

- ヒンドークシュ山脈



ノシャック

標高	7,492 m
所在地	アフガニスタン バダフシャーン州 パキスタン カイバル・パクトウンクワ州
位置	北緯36度25分54秒 東経71度49分42秒
山系	ヒンドークシュ山脈
初登頂	酒井敏明、岩坪五郎 (1960年)

ウィキペディアのノシャック



ご清聴ありがとうございました

愛用の楽器を手にするタジク族牧畜民